

1月27日

テーマ：何も思い煩わないで

聖書箇所：ピリピ人への手紙 4章6節～7節

◆今日のみことば

何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ピリピ人への手紙 4章6節

◆メッセージ

人間が知っていること、できることには限界があります。宇宙にロケットを飛ばしたり、ロボットを作ることができます。人間は、いつ、何が起こるのかも、すべてわかるわけではありません。それで未来に対して不安や恐れを持つようになります。その不安や心配を解決するために、ある人は占い師のような人ところに行きます。ある人は保険などに加入してどんなことが起こるか分からない未来に備えます。でも不安や心配はなくなりません。人は毎日不安や心配の中で過ごす存在です。このように未来に対する不安や心配の中で過ごす人には喜びがありません。



何も思い煩わないことは、すべての心配を止めると言う意味です。これは今直面している問題に対して、心配したり慌てたりしないことを意味します。心配する代わりに、祈りと願いによって願い事を神さまに告白することです。祈りというのは心が神さまに向いていることを意味し、願いというのは何か必要を神さまに頼むことを意味します。すなわち祈りというのは、ただ自分の欲望が正しいかのように自分の願いだけを祈ることではなくて、神さまの御心に従って祈ることが大切です。



ですから感謝をもって祈りと願いをささげるといのは、神さまが正しくて良い結果を与えてくださることを信じ、神さまの御心に従って歩むことを意味します。そうすると、人のすべての考えにまさる神さまの平安が与えられるのです。そして神さまの平安は、すべての不安や心配から私たちの心と思いを守ってくださいます。

◆お祈り

「何があっても心配しないで、感謝をもって神さまに祈り、心に神さまの平安が与えられますように。」  
(浦添ジョイ教会牧師 金炳九)